



JAあいち三河  
自己改革  
の  
進捗状況



# 今の 達成度は？



達成



順調



不十分

JAあいち三河では、誰のために行うのか不透明な押し付けの改革（政府主導の農協改革）に対抗すべく、組合員のための自己改革を進めております。

本資料では、平成29年度末までに実施した自己改革の成果と進捗状況についてご報告します。

# 1 管内農業の目指す姿を 組合員・役職員が共有

## 取組内容

## 進捗状況

## 達成度

### 担い手農家の明確化

中心となる担い手と多様な担い手の定義づけを進めています。  
※共選部会員・青年部員を「中心となる担い手」、産直部会員を「多様な担い手」として位置付ける。

担い手農家を対象とした訪問活動に向けて、名簿の見直しを行いました。

中心となる担い手 360名

多様な担い手 1,362名



地域農業ビジョン冊子



### 地域農業ビジョンの策定

臨時総代会にて承認されました。  
(3月)



# 2 新規就農者の育成・定着

目指すゴール (平成30年度)

新規就農者35名育成

## 取組内容

## 進捗状況

## 達成度

### 農業研修の開催

農業塾により、年間3名を目標に新規就農者の育成を進めています。

#### 第1 農業塾 (基礎研修)

#### 第2 農業塾 (生産・販売研修)

第1から1名、第2から4名が産直出荷をスタートさせました。(第2の4名はグループ出荷)



農業塾



### 担い手農家受け入れ研修

県市町と協議を重ねながら受け入れ先農家の登録を促し、受け入れ研修の拡充を進めています。

受け入れ登録農家が2名(いちご)増加しました。  
受け入れ研修をいちご1名、いちじく1名が実施しました。



### いちご研修施設新設

20aのハウスを新設し、いちご新規就農者の育成を図ります。

いちごプロジェクト会議を重ね、基本構想を検討しました。  
(2月理事会で承認)  
毎年3名を限度に新規就農希望者の募集を開始しました。  
(6月1日より募集開始)



いちごプロジェクト会議



### 新規就農者フォローアップ研修

県市町との会議を2か月に1回開催し、現地指導や担い手担当者によるフォローアップ研修を7回行うことができました。



# 3 中心となる担い手対応

目指すゴール（平成30年度）  
販売高2,000万円以上の農家3軒増

## 取組内容

### 出向く活動

重点品目（いちご、なす、オペレーター）を対象に、月1回以上の訪問活動を実施し、生産・販売・経営・労働力確保等の支援を拡充させます。

## 進捗状況

### 訪問軒数

いちご 612軒  
なす 128軒  
オペレーター 167軒

小麦「きぬあかり」の作付面積を758haに増やし、反収も128kg増加し、449kgとなりました。  
なすの栄養診断を実施しました。  
※反収…約10a当たりの作物の収穫量



きぬあかり

## 達成度



# 4 多様な担い手対応

目指すゴール（平成30年度）  
産直出荷農家の確保1,450名

## 取組内容

### 産直出荷者育成

広報誌での募集や栽培講習会の開催で出荷者加入促進を進めています。

## 進捗状況



栽培講習会

60名が新たに産直部会に加入しました。

現在 1,340名

## 達成度



### 簡易パイプハウス助成

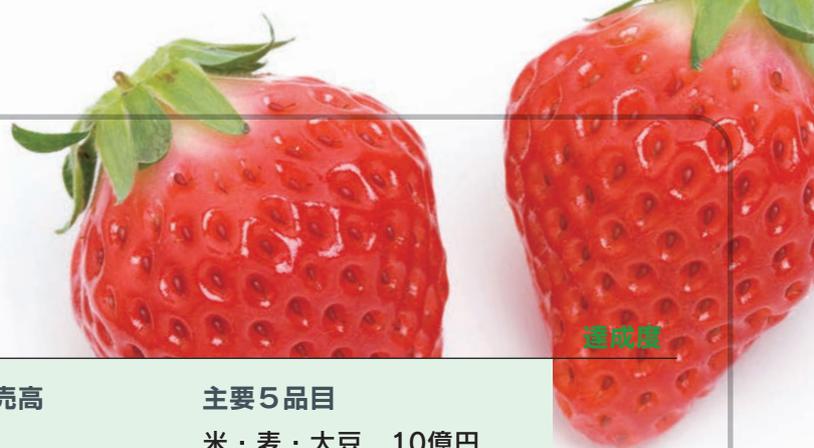
産直の栽培講習会を通じて、簡易パイプハウスの利点を説明し、年5件を目標に導入を促し、導入時の費用を助成します。

### 6件の導入実績

事業費 4,453,903円  
助成金 1,733,000円



# 5 農畜産物の販売力強化



達成度

## 取組内容

## 進捗状況

### 共選品目の販売強化

栽培技術指導会と販売会議の開催を拡充します。また、パッキングセンター利用による新たな販路の確保を進めます。それにより、共選販売品販売高33.5億円を達成します。

共選販売品販売高  
32.6億円

主要5品目	
米・麦・大豆	10億円
いちご	10億円
促成なす	4億円
夏秋なす	2億円
筆柿	1億円



### 実需者等への直販取引等の取組み

業務用の米販売における新規販売先の獲得に向けて地元企業及び外食店への訪問を行い、業務用米（あいちのかおり）24 t の販売を行います。

地元量販店と米生産農家への推進を2月に行い、「あいちのかおり」複数年出荷契約を3月に結びました。この契約に基づき、業務用米3,300俵（198 t）の販売が決まりました。地元量販店に向けて、平成30年度より毎月「コシヒカリ」100袋（500kg）の販売が決まりました。



### 生産性向上とコスト削減に向けた取組み

いちご苗炭酸ガス処理による本圃防除回数の削減、収量向上のための環境制御装置等（農業ICT）の導入推進、パッキングセンター利用による生産性向上に取組みます。

※ICT…コンピューターやネットワークを用いて作業の効率化、低コスト化を実現する情報通信技術や科学技術の総称。

炭酸ガス処理装置導入 20名  
環境制御装置等導入 2名  
パッキングセンター利用品目  
3品目（いちご、なす、いちじく）



環境制御装置の導入



いちご苗の炭酸ガス処理によるハダニ防除



ハウス内環境の可視化



### 産直販売力強化

食育ソムリエの確保、産直物流の広域化と集荷支援、品ぞろえ、こだわり米の販売を通じて産直の活性化を図り、産直品販売高26億円を達成します。

産直品販売高 23億円  
食育ソムリエ 10名維持  
県内、県外JAからの品物調達 6品目  
プレミアムミネアサヒ販売数 50俵

※プレミアムミネアサヒの販売

ミネアサヒの中でも高品質なものを厳選し、高価格で販売することで、高く売れた代金を該当農家に還元することで手取り増加に繋げる。



食育ソムリエの干し柿作り体験



ミネアサヒ



# 6 生産資材価格の低廉化

## 取組内容

経済連、メーカーとの徹底した価格交渉を行い、農薬、肥料、資材の価格引き下げを実現します。また、農機購入費用の助成を含め農機の共同利用研究に取り組めます。



肥料倉庫

## 進捗状況

以下の肥料について価格の引き下げを実現

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ①いちじく配合(1.7%)   | ⑧半田牛糞堆肥(2.1%)     |
| ②稲わら(6.5%)      | ⑨ぶどう配合(1.5%)      |
| ③魚粉(1.6%)       | ⑩ホウ砂(3.0%)        |
| ④顆粒消石灰(4.4%)    | ⑪ユーエキペレット(4.6%)   |
| ⑤茶心2号(1.7%)     | ⑫有機15号(2.3%)      |
| ⑥農カアッププラス(1.7%) | ⑬ヨシダ育苗培土(1.0%)    |
| ⑦花美咲1号(3.3%)    | ⑭粒状ようりんケイカル(0.5%) |



農機の展示会

208銘柄の農薬について価格の引き下げ(2%~10%)を実現  
新規取組みとして、一般農家向けに農機具購入資金を助成  
11名 助成金額4,012,383円

## 達成度



# 7 中心となる担い手への農地集積

## 取組内容

各地域協議体への協力を要請し基盤整備を進め、水田集積率を現在の45%から55%まで引き上げます。

## 進捗状況

現在49%  
島坂町(矢作) 19.4ha増加  
在家町(六ツ美) 24.0ha増加



集積が進んでいる六ツ美の水田

## 達成度



# 8 徹底した話し合い

## 取組内容

組合員との各種会議体を通じて、徹底した話し合いを行い、結果を運営に反映させます。

## 進捗状況

生産部会等35組織で話し合いを実施しました。



地域農業ビジョン策定に向けた検討委員会

## 達成度



# 9 総合事業を活かした 農業振興

## 取組内容

### 営農担当と金融担当による認定農業者への同行訪問及び農業融資に関する研修の実施

営農担当と金融担当による訪問を通じてヒアリングを行い、その課題を共有し、解決の手段を営農、金融事業を通じて図ります。また、農業融資並びに農業に関する研修、視察等の実施により知識の習得を図ります。

## 進捗状況

平成30年度より、各支店管内の認定農業者、担い手農家のもとを訪問し、有意義なヒアリングが行えるよう、活動実施に向けて研修を行いました。

2月 農業・農業融資に関する研修

3月 先進農業施設・農業機械及びパッキングセンターの視察研修



営農担当と金融担当の同行訪問



先進農業施設の見学

## 達成度



### 住宅ローン利用者に対する産直施設への誘導に関する奨励施策の実施

地元産米引換券と同割引券を付したDM（ダイレクトメール）を送付し、産直施設への誘導と利用促進を図ります。

DM送付者数 2,751名  
米引換券の利用状況

引換来店者数 1,291名  
米割引券の利用状況

1月 89件

2月 89件

3月 101件



地元米と引換券・割引券付DMはがき



### 貯金キャンペーンを通じた農業応援チケット発行による産直施設への誘導

貯金の上乗せ利率の一部を、産直施設で利用できるチケットで発行し、それにより産直施設への誘導と利用促進を図ります。

サマーキャンペーン（100円券）

利用額 5,795,400円（チケット回収率96.6%）

ウィンターキャンペーンおよび

福岡支店オープンイベント（300円券）

利用額 9,234,000円（チケット回収率97.1%）



ウィンターキャンペーンちらし



### 婚活イベントの開催

管内の独身男性農家を対象に結婚による担い手支援を行い、後継者不足の解消や地域農業の持続発展につなげます。

平成30年2月に初の婚活イベントを開催しました。  
男性11名、女性13名の参加をいただきました。



# 10 自己改革にかかる 職員研修



## 取組内容

自己改革に臨む全職員の意識を向上させ、意志統一を図ります。

## 進捗状況

平成30年1月、10回に分けて研修を行い全職員が参加しました。



自己改革にかかる職員研修

## 達成度



# 11 准組合員の 農業応援団化

## 取組内容

准組合員向け広報誌の発行  
准組合員に対してDM配布  
を継続します。



准組合員向け広報誌  
「KONにちは!」vol.4

## 進捗状況



4号からスタートした  
産直店舗特集

発行回数を年2回から年3  
回に増やし1回29,000部  
を発行しました。  
産直店舗特集の掲載をス  
タートさせ、産直のPRと  
来店誘致を図りました。

## 達成度



## 地域版コミュニティー誌の発行並び に体験塾の開催

地域住民に対して新聞折込に  
よる配布を継続します。発行  
の都度、体験塾を開催しJ A  
ファンを増やします。



地域版コミュニティー誌  
「みようね!」vol.23



みようね体験塾の  
スイーツデコレーション体験

103,000部を年3回発行しました。  
3月開催の体験塾に親子13組32人が参加しました。



## ホームページを更新しリアルタイム な情報発信

平成30年3月20日に新着情報の表示コンテンツをリ  
ニューアルし、月末までに8件の情報発信を行いました。

